

たんぽぽ通信

Vol.44 2013年3月10日発行 あいぜん薬局 板橋店

皮膚のかゆみはどうして起こる？

痒みは、寄生虫や虫刺されによるもの、刺激物との接触で起こるもの、特定の薬剤やアレルギー物質に反応して起こるものがあります。また、妊娠後期や肝臓に異常がある場合にも痒みが出ることがあります。

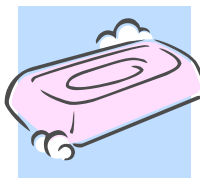


さらに、皮膚の乾燥により体の広い範囲で痒みが生じることがあり、特に寒い季節に多く見られます。このような乾燥肌では熱いお風呂に入ると痒みがひどくなることがあります。

痒いからと言って搔いてしまうと、皮膚が赤くなりひっかき傷ができ、さらに炎症の度合いを強めます。搔くこと自体が皮膚への刺激となり、皮膚に赤い筋ができたり、皮膚が厚くなることもありますので注意が必要です。

皮膚はどんな時に乾燥するか？

正常な皮膚は、水分を含んでいるため軟らかくしなやかです。皮膚の外層には脂肪成分がありこの水分の蒸発を防ぎ、皮膚の潤いを保っています。寒い季節や入浴回数の多さが皮膚の潤いを奪います。



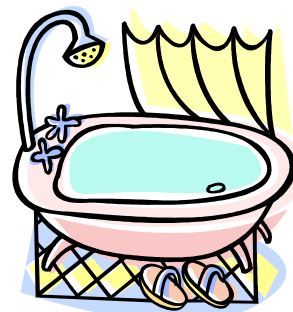
乾燥肌（ドライスキン）の治療方法は皮膚の水分を保つことです。入浴後にワセリンや鉱物油、グリセリンを含む保湿用の軟膏やクリームを使えば、皮膚の水分は保たれます。洗浄力の強い石鹸や香料の強い洗剤を避けることは皮膚の刺激を避け乾燥を防ぐのに有用です。



薬局からのお話 第44話



痒みがある時の対処方法



入浴時間を短時間で済ませ、冷たい水やぬるま湯で洗い、石鹸はなるべく使用しないようにします。皮膚を拭くときには勢いよくこすらずそっと叩いて水分を取り、乾かすようにします。入浴後に保湿クリームを適量塗ると効果的です。保湿剤は無香料・無着色のものを選びましょう。

また、爪は短く切り、かきむしってもひっかき傷がなるべくできないようにしましょう。

それでも症状が改善しない場合には、皮膚科の医師を受診しましょう。皮膚の病気には、アトピー性皮膚炎・アレルギー性皮膚炎・接触性皮膚炎などがあります。痒みは皮膚の病気以外にも全身に影響を与える病気によって引き起こされることがある為、自己判断は禁物です。



入浴剤や石鹸については医師が推薦しているものもあります。薬局でも取り扱っておりますので、薬剤師にご相談ください。

たんぽぽ通信からのお知らせ

ご質問、ご意見などございましたらお近くのエムトゥエムの調剤薬局にご相談ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

